（7） 経済 2版 （第三種郵便物認可） 山梨日日新聞 2025年（令和7年） 4月9日 水曜日

山梨経済

富士山GXホールディングスに社名変更へ

富士山の銘水 事業拡大で

ミネラルウオーター製造などの富士山の銘水（富士吉田市上吉田、粟井英朗社長）は8日、社名を5月1日から「富士山GXホールディングス」に変更すると発表した。エネルギーの高効率利用や環境負荷低減などグリーントランスフォーメーション（GX）を新たに経営の中核に据え、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指すとし、社名を変更する。同社は「クリーンエネルギーを中心とした新たな事業領域への挑戦を加速させる」とし

〈渡辺真紗美〉

富士山GXホールディングス株式会社

富士山GXホールディングスの新しいロゴマーク

同社は2010年の創業以来、天然水やウオーターサーバー事業を展開してきたが、今後、事業活動を通じて、クリーンエネルギー中心の産業・社会構造への転換を目指し、事業拡大を図ることから社名変更を決めたという。

今後の事業展開は、同社が開発した、有機フッ素化合物（PFAS）を99・9%除去する浄水カートリッジを活用した「PFASゼロ天然水・ウォーターサーバー事業」に加え、排水などによる環境負荷低減を目指す「亜臨界水事業」、次世代医療技術の研究開発に取り組む「再生医療事業」、エネルギーの高効率利用技術の推進に取り組む「高周波パワエレ事業」の4つを軸に展開。30年度の当期利益目標を1億円と設定した。

未来への事業と技術革新へのメントした。

意思を表現したデザイン」（同社）とした。

粟井社長は「創業以来、天然水、ウオーターサーバー事業を中心に多くのお客さまに利用してもらい、感謝している。今後はGXを推進する企業として進化し、全てのステークホルダーの皆さまにとって価値ある企業グループとして世界に飛躍していく」とコ

ザ・エレン 3連覇

バウムクーヘン総選挙

ファイナルクーヘン総選挙2024東京頂上決戦で1位になった「エレンバウム『時のなる木』ハードタイプ」

日本最大級のバウムクーヘン運営する洋菓子店「パティスファイト（南アルプス市）が開催したファイナルクーリーンベント「ファイナルクーヘン総選挙2024東京頂上決戦」（バウムクーヘン博覧会実行委員会主催）で、イーザ・エレン の「エレンバウム『時のなる木』ハードタイプ」が1位に選ばれ、3連覇を果たした。

全国から31ブランドが出品。2日に都内でバウムクーヘン博覧会が開かれ、販売会場とオンラインで投票を受け付け、票数を競った。それぞれの獲得票数は発表されていないが、総投票数は9980票だった。

イーファイトによると、「時のなる木」ハードタイプは、古くからドイツに伝わるこっこったタイプのバウムクーヘンで、表面はカリッと、中はしっとりとしていて2160円、Mは1620円、ミニ1410円。南アルプス市や昭和町などと4店舗で販売している。

東京決戦では2年から連続して1位を獲得。保坂栄一社長は「心を込めて一本一本焼き上げているので評価をいただきありがたい。今後はソフトタイプもHPRしていきたい」と話した。

また、県内から3位に富士山プロダクト（甲府市）の「青い富士山バウムクーヘン」、9位にイトバウム（甲斐市）の「チョコショーマンエイト」がランクインした。

〈桑原久美子〉

中小の個性発信サポート

中小企業の個性発信サポート

ビジネスリーダーに聞く

きっかけデザイン研究所（富士河口湖）

白井秀典代表

しらい・ひでのり氏 都留市出身。2008年に広告会社スコープ（東京）に入社。セブン&アイ出版やセブン&アイネットメディアでの勤務を経て、16年に山梨にUターン。富士吉田市で「富士山ゲストハウスきっかけ家」を創業。19年にきっかけデザイン研究所を設立した。39歳。

愛読書 「賢者の書」。要約をトイレに貼って毎日見返している

趣味 地方のスーパー巡り。47都道府県巡り

影響を受けた人 これまで会った人全員

きっかけデザイン研究所（富士河口湖町大石）は、ブランディングやマーケティングのコンサルタントとして、県内企業を支援している。自社秀典代表は山梨の企業を一人でもより多くの人に知ってもらい、好きになってくれる人を増やすことで、山梨全体を盛り上げていきたい」と意気込む。

―業況は。

「2019年の法人化以降、関わった県内の企業は300社を超える。新型コロナウイルス禍で『Ｂｔｏ Ｂ（企業対企業）』から『Ｂｔｏ Ｃ（企業対消費者）』に転換する企業が増えた。商社などにさせていただくことを目的でやる必要が出て、コンサルティングの需要が増えたと捉えている」

―心がけている点は。

「中小企業にとって、マーケティングやブランディングはなじみがない。横文字の専門用語を使わないよう意識している。ブランドは個性で、ブランディングは個性の進行形なので、個性を伝え続けることだと言い換えている。またPRは、会社やブランドを好きになってもらう活動だと表現している。自分の仕事は必要があって、自分たちの強みや魅力に気づいていないケースが非常に多い。自社では当たり前であっても、社外の人から見れば面白かったり、魅力的に感じたりする事柄がたくさんある。それを経営だけでなく、さまざまな部署や工場の社員からヒアリングしていく。

―今後の展開は。

「現状は、ほとんどの企業がマーケティングやブランディングを自己流でやっており、企業と消費者や求職者の間には溝があるその溝を埋めていきたい。国中地域のクライアントが増えたため、甲府駅近くに拠点を構えた。5月以降には稼働させる。人口減の中でどう企業が直面する課題を解決するかのセミナーも開きたい」

〈聞き手・渡辺真紗美〉

―次回は16日に掲載します。

クア・アンド・ホテルがベア

正社員と嘱託 平均6%

笛吹・石和健康ランド（などの新入社員は、大卒、高卒ずれも初任給を昨年より5万2千円引き上げた。

同社によると、賃上げの対象は正社員、嘱託社員の計約100人。ベアと10月に実施する定期昇給を合わせると、正社員と嘱託社員の給与について、平均6%のベースアップ（ベア）を実施した。今春

年間の賃上げ率は7・5%程度になる見込みになっている。

パートタイマーとアルバイト従業員については、昨年9月に時給を平均4%引き上げていて、今年も数%の賃上げを予定している。

田中社長は「業務の効率化などを進めて得られた利益を魅力的な施設づくりに加え、従業員のために投資し、採用競争力を高めたい」としている。

同社は石和健康ランドと甲府プリンスホテル朝日館（同市）、信州健康ランド（長野）、東京ホテル（東京）が、クア・アンド・ホテルと親会社のランド開発の全株式を再取得し、事業承継する定期昇給を合わせると、

人事

◇山梨信用金庫（1日）

▽常勤理事・審査部長兼融資企画課長委嘱＝程原渉▽執行役員・事務部長＝込山幸徳▽田中西ブロック長・小笠原支店長・部長代理（兼監査課長）＝萩原（敬称略）

▽常勤理事・審査部長兼監査課長＝渡辺修▽甲府ブロック長・石和支店長・部長代理（営業統括課長兼営業支援課長）＝樋口敏幸▽城山支店長（上野原支店長）＝中西英明▽上野原支店長＝吉田（敬称略）

▽専務理事＝石和支店長・部長代理（営業統括課長兼営業支援課長）＝樋口敏幸▽城山支店長（上野原支店長）＝中西英明▽上野原支店長＝吉田（敬称略）

▽常務理事＝石和支店長・部長代理（営業統括課長兼営業支援課長）＝樋口敏幸▽城山支店長（上野原支店長）＝中西英明▽上野原支店長＝吉田（敬称略）

▽理事＝石和支店長・部長代理（営業統括課長兼営業支援課長）＝樋口敏幸▽城山支店長（上野原支店長）＝中西英明▽上野原支店長＝吉田（敬称略）

▽監事＝石和支店長・部長代理（営業統括課長兼営業支援課長）＝樋口敏幸▽城山支店長（上野原支店長）＝中西英明▽上野原支店長＝吉田（敬称略）

▽顧問＝鶴崎支店長・玉穂支店長・勝野支店長・城山支店長・吉田（敬称略）

▽参与